

TV 報道検証【報道特集】 報告書

テレビ局：TBS	番組名：報道特集	放送日：2020年10月3日
出演者：金平茂紀、日下部正樹、膳場貴子、齋藤慎太郎 中谷亮太（TBS 社会部記者）		
検証テーマ：日本学術会議、オープニング、トランプ大統領のコロナ症状、アメリカ大統領選挙と南北の分断 GoTo トラベルキャンペーン、東京での感染者 イギリスの製薬大手が日本での治験再開		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本学術会議 ・オープニング ・トランプ大統領のコロナ症状 ・アメリカ大統領選挙と南北の分断 ・GoTo トラベルキャンペーン ・東京の感染者 ・パリでの飲食店営業停止に従業員が抗議 ・イギリスの製薬大手が日本での治験再開 ・横浜市で住宅火災 ・【特集】 聖職者による性的虐待 ・【特集】 コロナ禍の看取りは ・スポーツ報道 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本学術会議：結論→問題あり <p>日本学術会議について以下に朱記したような VTR が取り上げられた、</p> <p>"ナレ「菅総理が日本学術会議が新会員候補として推薦した 105 人の内、6 人の任命を見送った問題、これに対し、日本学術会議は今日午後に開いた感じ会ですが総理への要望書を取りまとめました、任命が見送られたのは早稲田大学の岡田正則教授、東京大学の加藤陽子教授ら 6 人で安保法制や共謀罪などに反対を表明した学者らが含まれています。要望書では 6 人が任命されない理由を求めるとともに 6 人を速やかに任命するように求めました。今日、総理大臣官邸の前で開かれた集会、今回の任命見送りに抗議する学者など 200 人以上が集まり、任命が見送られた学者の一人、早稲田大学の岡田教授も参加して法的な根拠に欠けると訴えました。」</p> <p>岡田正則（早稲田大学教授）「監督権なんかないんですよ。監督権があるから何ていうのは全く法律を知らない素人の人の議論と、内閣総理大臣も『あ、ごめんちょっと名簿見誤っちゃったから直します、』ということですね、潔く訂正すればいいだけの話。」"</p> <p>"記者「学術会議の 6 人を任命除外した理由は何でしょうか、会見などで説明する考えはないのでしょうか。」</p> <p>菅総理「法に基づいて適切に対応した結果です、」</p> <p>ナレ「この問題について昨日菅総理は報道陣の問いかけに法に基づいて対応したと、しています。しかし、過去には政府は全く違う見解を示しています、1983 年、当時の中曽根総理は日本学術会議の会員の任命について政府が行うのは形式的任命に過ぎない、などと答弁していました。この答弁について事前に検討した際のものと思われる文書が残っていることもわかりました。文書は内閣法制局の法律案審議録に含まれた日本学術会議関係想定</p>		

問答で 44 番目の問答内容としてこう書かれています。」

想定質問「内閣総理大臣による任命は実質任命か。」

想定答弁「推薦に基づいて会員を任命することになっており、この任命は形式的任命である。」

ナレ「文書を国立公文書館で確認した立憲民主党の小西洋之参議院議員は文書は内閣法制局の審査により確定された政府統一見解であり、国会で議決された法律の根幹の解釈を示すもの、これと矛盾する菅総理の解釈は違法と言わざるをないと話しています。」

このトピックについて当てられた時間は 182 秒だった。

ところで、日本学術会議については TBS 系列の NEWS23 でも取り上げられており、そこでは 2004 年に制度改正が行われていたことが伝えられている。

2004 年に改正が行われていることについて 1983 年時点での想定問答が通用するののかということは検証が必要な事柄であろう。しかし、この報道ではそうした検証がされることも、そもそも 2004 年に改正が行われていたという事実自体も触れられることなく、1983 年の想定問答が妥当なものであるかのように無批判に取り上げられていた。こうした報じ方は放送法第四条一項二号「政治的に公平であること」および同三号「報道は事実をまげないですること」、同四号「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること」の点から極めて問題のある報道と言える。

・オープニング：結論→問題あり

金平茂紀「日本学術会議への政府の人事介入、政府はなにか勘違いしているのではないのでしょうか、人事権は国民由来のものであり、政府の好き嫌いで勝手に使えるものではありません、国民に経緯を説明して速やかに過ちを正すべきではないのでしょうか。報道特集は 40 年を迎えた今日、あえて申し上げたいと思います。」

このトピックについて当てられた時間は 23 秒だった。

人事権は国民由来のものというのはまさしく金平キャスターの言う通りである。

他方で、総理大臣というのは議院内閣制のもとで国民から信任を受け選出された国会議員から構成される国会において選ばれているものであり、国会議員を通じて間接的に国民からの信任を得ている立場にある。

ところで、日本学術会議のメンバーおよび今回推薦された学者は国民からどのように信任を得ているのだろうか。国民から信任不信任を示す術がないとすれば、そういうところで政府の機関の人事権が独立的に行使されているとすればそれこそ学者の好き勝手に使えるものであってはならないだろう。

この金平キャスターのコメントは明らかに偏った立場からのコメントであり放送法第四条一項二号の「政治的に公平であること」に照らして著しく問題であると言える。

・トランプ大統領のコロナ症状：結論→特に問題なし

膳場キャスターの「では、ニュースです。新型コロナウイルスの感染が判明し、ホワイトハウスでの隔離措置が発表されていたアメリカのトランプ大統領が医療施設に入院しました。」とのコメントおよび、日下部キャスターの「数日間の入院が決まり、治療薬レムデシベルの投与も開始されました。」とのコメントを受けて、以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。

"トランプ大統領「皆さんの大きな支援に感謝したい。私は軍の医療施設に行く、調子はとてもいいと思う、私は決して忘れない、ありがとう。」

ナレ「Twitter でこう述べ、感染が判明した翌日から軍の医療施設に数日間入院することになったトランプ大統領。」

土居一雄（報告）「こちらがトランプ大統領が入院している医療施設です。入り口には規制線が張られていて、これ以上近づくことはできません。」

トランプ支持者 A「彼は戦士だから大丈夫よ。」

ナレ「施設前には支持者が深夜まで集まっていた、現地 2 日夜のホワイトハウスの最新の発表ではトランプ氏の状態はよく、酸素吸入は必要ないもののレムデシビルの投与が開始されたということです。抗ウイルス薬レムデシビルは日本でも新型コロナウイルス感染症の治療薬として承認されています。トランプ氏は入院先から『大丈夫そうだ、皆さんに感謝している』と短く書き込みました。体調は問題ないと強調するトランプ氏ですがアメリカメディアは微熱や咳などの症状に苦しんでいる、一晩で発熱のような症状が出たため益々警戒するようになった、などと報じています。主治医は疲弊しているとしてアメリカの製薬会社カイア初の臨床試験段階の交代治療薬も例外的に投与したとしています。一方、トランプ氏と 30 日の討論会に参加した民主党のバイデン候補は検査で陰性と確認され、大統領選のキャンペーンに復帰をしました。こうした中 26 日にホワイトハウスで行われた連邦最高裁判事の指名を発表した会見の参加者のうち少なくとも 7 人の感染が確認されたということで、アメリカメディアはこれが感染拡大につながった可能性もしてきています。」

このトピックについて当てられた時間は 140 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・アメリカ大統領選挙と南北の分断：結論→特に問題なし

日下部キャスターの「トランプ大統領の感染で影響が避けられなくなったのが一ヶ月後の大統領選挙です、焦点の一つは社会の分断を深める人種差別ですけれども実はその背景には奴隷制度をめぐる歴史認識の問題があります。」とのコメントを受けて以下に朱記したような VTR が取り上げられた。

"ナレ「黒人差別への抗議の激化とともに各地で引き倒された銅像の多くは南北戦争で奴隷制度の存続を主張した南部同盟に関わるものです。かつての南部同盟の首都ヴァージニア州リッチモンド市。南部の英雄の銅像が数多くありますが、市の歴史で最も若い黒人の市長が撤去に踏み切りました。」

ストーニー市長（リッチモンド市市長）「銅像は『南部の支配者は白人なのだ』という誤ったメッセージを植え付け、黒人を脅す目的で建てられたのです。」

ナレ「銅像は現代に続く黒人差別を肯定するものという問題意識があったのです。しかし。」

"トランプ大統領「左派の連中は米国の歴史を欺瞞と嘘で汚し歪曲している。」

ナレ「歴史と伝統を強調し、銅像を守るべきだと保守層向けに訴えるトランプ氏に共感する人たちもいます。南北戦争の激戦地として知られるペンシルベニア州ゲティスバーグ、戦いの再現イベントが人気ですがここでは南北戦争は奴隷制度の存続を巡る争いだったという定説とは違う解釈が聞かれます。」

南北戦争再現の参加者 A「北部は奴隷制廃止のため、戦いましたが南部は自分たちの権利の為に戦いました。南部は”自らの行動を決める自由”を得たかったんです。」

ナレ「こうした認識は稀ではなく、世論調査の四割が戦争の一番の原因は奴隷制度ではなかったと答えています。南北戦争の生存者配属が決めた団体、南軍兵士の子孫の会のメンバーで彫刻家のキャスティールさんは奴隷制を美化したいわけではなく先祖の名誉を守りたい、と言います。」

キャスティール（「南軍兵士の子孫の会」彫刻家）「私は南北両軍に先祖がいます。私の家族です、南部では家族は極めて重要です。」

ナレ「いま、銅像の修理や新たな制作の依頼が相次いでいます。」

キャスティール「トランプ大統領が歴史を守ろうとしていて、嬉しく思います。銅像鉄橋の次はなんですか。」

ナレ「国の未来を左右する大統領選、歴史認識をめぐる分断も浮き彫りにしています。」

このトピックについて当てられた時間は 214 秒であり、放送法上は特に問題は見られなかった。

・GoTo トラベルキャンペーン：結論→特に問題なし

膳場キャスターの「GoTo トラベルキャンペーンの対象地域に東京が追加されてから初の週末を迎え、東京の観光地には多くの方が訪れています。」とのコメントを受けて、以下に朱記したような VTR が取り上げられていた。

愛知から来た人 A「GoTo トラベルキャンペーンで来ました。1 万 2,3000 円位お値打ちに来られるので、それで来ました。」

広島から来た人 B「GoTo トラベルキャンペーンでホテルを予約してこの 3000 円分をいただきました。」

ナレ「東京を除外する形で今年 7 月末に始まった GoTo トラベルキャンペーンですが、今月 1 日から東京を発着する旅行も加わり対象地域は全国となりました。」

東京から香川に行く人 C「名の結婚式の衣装合わせに、コロナにかかっていない人がいない、少ないので自分たちがバラまいて来ないように、というか。」

ナレ「JR 東海によりますと GoTo トラベルに関わる旅行商品が人気で、10 月に出発する旅行商品の売上は前年の 7 割まで回復していると言います、また空の便も客足は好調です日本航空と全日空によりますと、東京が追加される方針が示された 9 月後半以降、10 月の予約が大きく伸び利用客は前年の年のおよそ 5 割まで回復する見通しだということです。」

"観光地京都も東京からの観光客で賑わっています、清水寺に続く参道には多くの方が訪れ、買い物などを楽しんでおりました。"

記者「GoTo キャンペーンを使われているんですか。」

東京からの観光客 D「そうですね、安くなるならいこうかなみたいな気持ちは若干確かにあります。」

東京からの観光客 E「結構お得なんで、クーポンとかも使えて結構いいですね。」

ナレ「東京からの観光客を心待ちにしていた土産物店は。」

土産物店の人「京都なんかは観光で持っている街やし、待ち望んでいました。」 "

"ナレ「首都圏から近い観光地、静岡県下田市も駅に東京からの特急電車が到着すると親子連れなどが次々とおりてきました。」

観光客 F「東京から来ました。」

観光客 G「GoTo で来ました。」

観光客 H「リーズナブルに使えるし、あとも地域振興券も意外と使ってすごいお得に旅行できています。」

ナレ「こちらの人気の水族館でも久しぶりの賑わいに一安心です。」

浅川弘（下田海中水族館営業課長）「まあ東京の人が動かないとエリアが死んでしまいますからね、期待したいところです。」

ナレ「観光地は感染予防に気を配りながら GoTo トラベルによる客足の伸びに期待を寄せています。」 "

このトピックについて当てられた時間は 169 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・東京での感染者：結論→特に問題なし

膳場キャスターによって「新型コロナウイルスについて東京都は今日新たに 207 人の感染が確認されたと発表しました。東京都が今日、新たに発表した感染者の数は 207 人です 5 日連続で 200 人前後と高い水準が続いていて週平均の新規感染者も先週の 152.4 人から 180.8 人に増加しています。今日の感染確認を年代別に見ると 20

代が最も多く 61 人で次いで 30 代が 43 人と、30 代以下の若い世代が半数以上を占めています。重症化リスクが高いとされる 60 歳以上の感染者は 26 人でした。また今日時点での重症者は昨日から 3 人増え 25 人となりました。」とのことが伝えられた。

このトピックについて当てられた時間は 51 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

・イギリスの製薬大手が日本での治験再開：結論→特に問題なし

ナレーションによって「イギリスの製薬大手アストラゼネカは日本での新型コロナワクチンの治験を再開したと発表しました。この治験を巡っては重い副反応を疑わせる症状が出て、一旦中止されたもののその後イギリスなどで再開されていました。」とのことが伝えられた。

このトピックについて当てられた時間は 20 秒で放送法上は特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特に問題なし

検証者所感

・アメリカ大統領選挙と南北の分断

ナレーションは「南北戦争は奴隷制度の存続を巡る争いだったという定説とは違う解釈が聞かれます。」と伝えていたが、そもそも南北戦争が奴隷制度の存続をめぐる争いというのが定説というのはどこで誰がどのように言っているのだろうか、非常に気になるところである。

元々、南北戦争の争点としては産業構造の違いや関税への対応も指摘されているが、そもそもアメリカという国は各州の連邦国家であるのだから、各州で見解が分かれるなら連邦政府から離脱して別々の国に別れてしまえば戦争などせずとも済んだ話だったのではなかろうか。そうならなかったことこそがまさに南北戦争再現の参加者の「北部は奴隷制廃止のため、戦いましたが南部は自分たちの権利の為に戦いました。南部は”自らの行動を決める自由”を得たかったんです。」との発言の意味するところではなかったのではなかろうか。

そういう点では報道特集側が「定説とは違う解釈」として取り上げているのだから、もう少し丁寧に掘り下げてやらないと、視聴者には伝わらない、不親切な報道になってしまわないだろうか。